

令和2年度事業報告

(令和2年5月1日から令和3年4月30日まで)

特定非営利活動法人うりずん

1 事業の成果

設立から10事業年度(9年余)が経過しました。また、認定NPO法人の認証から7年となりました。

平成28年に新拠点へ移転して5年が過ぎ、同時に開始した児童発達支援、放課後等デイサービス、居宅訪問型保育も6年目を迎えました。このうち、居宅訪問型保育は対象児の卒園と保育士の人材不足から、令和3年3月31日をもって受け入れを休止しました。令和3年4月からは、児童発達支援、放課後等デイサービスに加えて、移転前から行っている、日中一時支援、居宅介護、移動支援、相談支援の6事業が第11事業年度のスタートをきることができました。特に日中一時支援においては、18歳以上の医療的ケア者の行き場を確保する使命から、定期枠を増やし、一部で行っている入浴も好評で一定の成果は得られました。しかし、事業の拡大とスタッフ数の増加に伴い、情報共有や振り返りの不足による利用者ケアの質の低下が危惧されたこと、介護スタッフの応募が思うように入らず、少し営業日数を減らしても足場を固めることについての提案が責任者間でなされ、収入を減らしても人材育成と仕組みづくりを優先する方針を10事業年度にとる方針となりました。そのため、金曜日の放課後等デイサービスを休止し、スタッフや責任者のミーティング、利用者情報の共有、研修等に充てることができ、支援の改善とスタッフ同士の連帯感の醸成につなげることができました。本年度は、金曜日の放課後等デイサービスを再開し、情報共有やスタッフミーティングは木曜日の朝(利用者到着前)に継続・実施しています。

令和2年度当初は新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が全国に発出されたため、利用を自粛する利用者、学校の休校に伴い子どもが家にいることから影響を受けるスタッフもあり、年度始め(5月)の運営状態は昨年同月比でも大きくマイナスとなりましたが、その後は通常通りに持ち直しました。小学校等臨時休校で、休業を余儀なくされたスタッフには、厚生労働省助成金(新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応支援金)を申請し、通常の有給休暇とは別に特別有給休暇を支給しました。

助成事業としては、日本財団の新型コロナウイルス対策特別助成金(80万円)でマスクや消毒液、空気清浄機などの衛生物品や連結マットなどの支援用品を購入させていただきました。他にも、そらぶちキッズキャンプ他の団体や個人からも衛生物品の寄贈を受けました。栃木県より委託を受けた「栃木県小児在宅医療体制構築事業」は4年目となり、医師向け実技講習会、多職種研修会、家族交流会などを感染防止の観点からすべてオンラインで行いました。

また、10月よりファンドレイジング事業のプロジェクトチームを立ち上げ、既存の賛助会員、一般寄付者に加え、新たに協賛企業会員を創設、ボランティアやスタッフも含めすべてのうりずん支援者・協力者の総称として「うりずん応援団」と名付けて、支援者・協力者の輪を広げる活動を開始しました。

スタッフは新たに常勤看護師1名、非常勤看護師1名、常勤保育士1名、非常勤事務1名、非常勤運転手1名を雇用する一方、常勤看護師1名、常勤介護職2名、常勤保育士1名、非常勤保育士1名が一身上の都合で退職し、全体では看護師9(常勤4、非常勤5)、介護職8(常勤5、非常勤3)、保育士1(常勤1)、相談支援専門員1(常勤1)、事務局6(常勤3、非常勤3)運転手1名の合計26名(令和3年5月現在)となりました。他に7月より常勤介護職2名の採用が決定しています。

●障害福祉サービス事業

- ・居宅介護(ホームヘルプ)を23名の契約者に対して、1,328.5時間行いました。(前年度1,726時間)

●相談支援事業

- ・契約者20名(成人3名、児童17名)(令和3年6月現在)

●地域生活支援事業

- ・日中一時支援は59名の契約者(うち人工呼吸器装着18名、気管切開31名、経管栄養46名、酸素常時使用16名)があり、延べ1,573名(うち人工呼吸器装着662名)が利用しました(前年度1,621名)。移動支援は15名の契約者に延べ425.5時間行いました。(前年度526時間)

●障害児通所支援事業

- ・児童発達支援は15名の契約者があり、延べ897名が利用しました。(前年度960名)。放課後等デイサービスは22名の契約者があり、延べ733名が利用しました。(前年度957名)

●保育事業

- ・居宅訪問型保育が1名の契約者に対し、延べ128日の利用がありました。(前年度175日)

●障がい児者等の社会参加と自立支援に関する事業

- ・9月に予定していた「ふれあいまつり in うりずん」は新型コロナウイルス感染防止のため、次年度へ延期となりました。また、昨年度に引き続き日中一時支援や居宅介護時に外出（散歩）や余暇支援を感染防止の観点から可能な範囲で行いました。移動支援の算定が難しい場合でも、これは必要と考えた場合には、臨時でボランティアで送迎や付き添いを可能な範囲で行いました。

●医療依存度の高い子ども等及びその家族に対する緩和ケア事業

- ・6月のドリームナイト・アット・ザ・ズー（Dream Night at the Zoo・宇都宮動物園主催）9月のチャリティコンサート（「宇都宮共和大学T i n y」と共催）、12月のクリスマス会はすべて新型コロナウイルス感染防止のために中止になりました。また、地域交流スペース（ゆいまーる）での、ご利用者家族を中心にドリンクバー形式のカフェのご利用提供、講演会、ファミリー映画会、演奏会等も、感染防止のため取りやめとなりました。クリスマス会の代替えとして、クリスマスウィークと称し通常の支援の中でクリスマスの雰囲気伝える催し（紙芝居や演奏会等）を行い、参加できなかったご家族にはYouTubeで配信しました。児発の卒園式は感染防止対策を徹底した上で、最小限の人員で行いました。

●障がい児者等に関する普及・啓発及び政策提言に関する事業

- ・4回目となる「栃木県小児在宅医療体制構築事業（栃木県から委託事業）」の一環として家族支援の公開講座（11月）、医師向け実技講習会（2月）、多職種研修会（10月、12月）、医師向け同行訪問（4名）、相談支援（22件）を開催、新型コロナウイルス感染防止の観点から公開講座、講習会、研修会はすべてZoomによるオンラインでの実施となりました。うりずん通信テレマカシーの年4回発行。スタッフ研修は、8回、9日間行い、のべ34名が参加しました。ファンドレイジング事業の開始によって重い障がいをもつ子どもの支援を改めて認識する機会となりました。

●ホームヘルパー等の養成及び研修に関する事業

- ・栃木県より第三号研修の登録養成機関としての認証を受けて4年目となり、9月に第三号研修の基礎研修を実施しました。また、昨年度はじめて三号研修と合わせて指導看護師研修を行いました。宇都宮市と県内各地から介護職6名、看護師10名が参加しました。

●ネットワークへの参加・協力に関する事業

- ・12月サンタ de ランに8名が参加しました。
- ・インターン生2名（白鷗大学、宇都宮大学）を10月～12月に受け入れを行いました。

寄付金は15,000,000円の目標に対して13,672,485円となりました（前年度/10,074,891円）。オンライン寄付は83名2,191,000円（前年度/78名1,779,000円）うりずん応援団の効果が現れ、対前年度比で約350万円アップとなりました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	居宅介護 重度訪問介護 重度障害者包括支援 生活介護 短期入所 ケアホーム	週5日 9時～17時 実施せず	契約利用者の自宅	10名	契約利用者 23名	7,550
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	相談支援 電話相談 訪問相談 来所相談 連絡調整	令和1年度内	うりずん	1名	20名	3,981

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業	日中一時支援 (重症障がい児者医療的ケア支援事業：宇都宮市、日光市、鹿沼市、塩谷町、高根沢町、上三川町より委託) 移動支援 (宇都宮市、日光市、より委託)	週5日 10時～16時	うりずん	10名 8名	契約利用者 59名 契約利用者 15名	37,745
介護保険法に基づく居宅サービス事業	訪問看護	実施せず				0
児童福祉法に基づく障害児通所支援事業及び障害児相談支援事業	児童発達支援 放課後等デイサービス 障害児相談支援	週6日 9時～14時 週6日 放課後～17時 土曜・長期休暇 9時～3時30分 本年度は 実施せず	うりずん (新施設)	10名 10名	契約利用者 15名 契約利用者 22名	39,945
児童福祉法、社会福祉法、子ども・子育て支援法、その他関係法令に基づく子ども・子育て関連事業	居宅訪問型保育	週6日 8時～19時	契約利用者の居宅	3名	契約利用者 1名	5,589
児童福祉法に基づく小児慢性特定疾病児童等自立支援事業	自立支援 相談支援	本事業年度は実施せず				0
障がい児者等の社会参加と自立支援に関する事業	外出支援 余暇支援 (日本財団TF助成事業) ふれあいまつり in うりずん	随時 随時 次年度へ 延期	外出先 外出先	10名 10名		82

医療依存度の高い子ども等及びその家族に対する緩和ケア事業	グリーフケア（メモリアル写真集作成、お便り、訪問） 家族会 きょうだいへの支援 Dream Night at the Zoo チャリティコンサート クリスマスウイーク	随時 中止 中止 中止 12/21-25	うりずん及 ご遺族宅等 うりずん	16名	43名	297
障がい児者等に関する調査・研究に関する事業	調査・研究	本事業年度は実施せず				0
障がい児者等に関する普及・啓発及び政策提言に関する事業	通信の発行 ホームページの更新 小児在宅医療体制構築事業 多職種研修会 家族支援交流会 多職種研修会 医師向け実技講習会 医師向け同行訪問 医師向け相談支援 専用ホームページ更新 ファンドレイジング事業	年4回（7月/10月/1月/4月） 随時 10/25 11/8 12/13 1/26 令和2年度 令和2年度 令和2年度 令和2年度	うりずん うりずん オンライン オンライン オンライン オンライン ひびりクリニック ひびりクリニック うりずん	10名 5名 9名 8名 9名 8名 2名 2名 2名	支援者約2500名 支援者、一般 93名 61名 76名 73名 4名 22件	7,407
ホームヘルパー等の養成及び研修に関する事業	第三号研修 指導看護師研修 スタッフ研修 Burano 見学 FLAT 見学 口腔ケア研修 社会福祉新任研修 メンタルヘルヘルス対応等研修 法人全体研修 コーチング等研修 新人職員研修	9/12-9/13 9/12 7/16 7/30 8/7 8/29 10/6、10/20 12/25 2/24 3/15	うりずん うりずん 茨城県古河市 千葉県白井市 福祉プラザ 福祉プラザ 福祉プラザ うりずん 福祉プラザ オンライン	8名 6名 1名 2名 1名 1名 2名 24名 2名 1名	6名 10名 スタッフ	293
目的達成のためのネットワークへの参加・協力に関する事業	インターン生（2名）受入 「サンタ de ラン」	10～12月 12/20	うりずん 宇都宮市	1名 7名	2名	113

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	支出額 (千円)
物品販売	うりずんグッズ販売等	本事業年度 は実施せず			0
チャリティー イベント	チャリティー講演会等	本事業年度 は実施せず			0